

208mm
〈中に巻き込まれる面〉

2019年10月23日～10月28日

豊川 彩幸

ケアハウス
デイサービスセンター
居宅介護支援事業所

同行した介護職員の感想

○来たるべき日のためにインドネシアの方々の日常や人柄、文化を知る
10月23日～10月28日の6日間、彩幸職員3名でインドネシアの現地視察へ行つてきました。
インドネシアの首都ジャカルタは、ビルや店舗・タワーマンションが立ち並び日本の東京や名古屋等の街とほとんど変わりのない風景で、交通量は日本よりも車が多いが、信号は日本よりも少なく、道路があちこちで渋滞していました。
また、走っている車やバイクも95%が日本製である日本の道路を見ているようでした。
私達は、ジャカルタから車で8時間程掛かる西ジャワ州にある「チレボン」の街へ行きました。チレボンの街はジャカルタとは違い、インドネシアの中では田舎にあたるのか、ビルやマンション等はほとんど見られません。
また日本人がチレボンの街へ来るのはとても珍しい事の様で、街を歩くと「私と一緒に写真（スマホの写メ）を撮って下さい」と若い女の子達から何度も声を掛けられたり、歓迎の握手をして下さったりと…とても暖かく私たちを迎えて下さいました。
一緒に撮った写真は、インスタグラムやブログで使用するらしく、「若い子達のすることは日本もインドネシアも同じなんだな」と感じました。
チレボンの方は、何より街のみんなが笑顔で、活気がみなぎっていました。インドネシア語の話せない私達を全力で歓迎して下さいました。
その後、私達は「日本語学校」を訪問。
そこでは、日本で働いてみたいと思っている子達が一生懸命に日本語を学び、ほとんどの子が、実家を離れて日本語学校の寮で生活していました。
彼等には「夢」がありました。
「親に家を建ててあげたい」「両親の持つ牛小屋を建てなおしてあげたい」「お金を貯めてインドネシアで病院を開き街のみんなの助けになりたい」「親の行っている商売の為に新しい会社を建てて大きくしてあげたい」
…みんな、自分の夢ではなく家族や国を想う夢でした。
その夢の為、難しい日本語を懸命に学び真剣に取り組んでいます。

インドネシアは日本よりも貧富の差も激しく、日本のように保障された制度が整っていないかも知れませんが、夢と活力にみなぎった国であることは間違いありません。
今回の視察で「初めて海外へ行く!!…」と言う経験以上に、人の温かさに触れ自分自身を見直す事ができました。
また、彼らであれば、一生懸命仕事に取組み、多くの優しさや笑顔を利用者様にお届けすることができると感じました。

視察者：事務長 村松 寛泰
介護主任 佐藤 直宏
介護主任 二橋 有美子

白い編集後記
Editing postscript

■機関紙「仁志(にし)」2020年1月(第3号) ■2020年2月1日発行 ■企画・編集・発行／社会福祉法人 豊生会 彩幸 〒441-3213 豊橋市西赤沢町字深山95番地 TEL.0532-23-6011
【彩幸】豊橋市西赤沢町字深山95番地 TEL.0532-25-3361
【大清水 彩幸】豊橋市東大清水町181-1 TEL.0532-25-3361
【豊川 彩幸】豊川市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771

210mm
〈表4〉

豊川 ケアハウス豊川 彩幸 職員だより「四季折々 ～しきおりおり～」

ケアハウス豊川 彩幸：四季折々 ～しきおりおり～

ケアハウスでは入居者様と一緒に定期的に行事を開催しています。行事とは節分やひな祭り、クリスマスなど施設全体で行われるものであります。単調になりがちな施設での生活に季節感や生きがいを感じてもらえます。

ケアハウスで特に人気のある行事がお茶会や外食行事です。おいしい料理を食べながら入居者様同士を繋げるコミュニケーションの機会を提供させていただき、これからも楽しんでもらいたいと思っています。

豊川 デイサービスセンター豊川 彩幸 職員だより「ワンチーム」

利用者様「何か仕事はないかん? 体操もいいけど、いろいろやるで任せてくれいいでのん」と声を掛けて頂き、職員「はい!わかりました。じゃあ、最近話題になってる〇〇なんかどうでしようか?」と企画がスタートします。

利用者様との打ち合わせでは「好みが偏らず、あまり細かくなく、身体状況に関係なく誰でも楽しんでもらえるよう」との想いが詰まっています。

作成中も利用者様が互いに気にかけ苦手な所を助け合い、完成までの約1ヵ月デイサービスがワンチームになります。

参加することにも意味があり、皆さんの手元からワンチームの作品が生まれてきます。

豊川 居宅介護支援事業所豊川 彩幸 職員だより「知恵から学ぶ」

私たちケアマネージャーは、毎月身体の状態やサービスの状況などを確認しに利用者宅を訪問し色々な話を伺っています。人生の大先輩である方々から色々な事を学ばせて頂いていると感じる今日この頃です。

ガーデニングや野菜作りを頑張っている方、ぬか漬けや筍ご飯にきちんと、切り干し大根、梅ジュースなど旬の食材を使った料理をしている方、庭で育てた花をドライフラワーにして飾る方、姉妹で毎週集まってつまり細工を作る方など。聞くだけではなく実践をと、私も自宅で挑戦しています。上手くいかない時はまた相談。コツを教えてもらってさらに腕が上がりります。(笑)花の苗の安い店、良い肥料、筍のアコの抜き方、ぬかの味がやる人の手によって変わるもの、私が作った料理や作品を見て皆さん笑顔になることに幸せを感じます。仕事を通じ色々な事を学べるこのご縁を大切にていきたいです。(5)

少子化は、何十年も前から言われていて、何故、今も打開策が…と常々思います。高度経済成長で、社会構造も変化して日本は便利な国になりましたが、それと引き換えに無くしてしまった、忘れ去られてしまったものがある様な気がします。

高齢者でお困りごと、入居・利用の相談等、お気軽にお問合せ下さい。
社会福祉法人 豊生会 https://saikou.or.jp/
【彩幸】豊橋市西赤沢町字深山95番地 TEL.0532-23-6011
【大清水 彩幸】豊橋市東大清水町181-1 TEL.0532-25-3361
【豊川 彩幸】豊川市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771

彩幸
●特別養護老人ホーム ●ショートステイ
●デイサービスセンター ●軽費老人ホームケアハウス
●居宅介護支援事業所 ●地域包括支援センター
〒441-3213 豊橋市東大清水町181-1 TEL.0532-23-6011 FAX.0532-25-3707
△442-0846 豊橋市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771 FAX.0533-88-9772

社会福祉法人 豊生会 彩幸

210mm
〈表紙〉

Vol.3
2020年2月発行
豊生会 彩幸発行
機関紙「仁志」

仁志

人はそれぞれの個性を持って生まれ
ひとりとして同じ人生を歩む人はいない
生まれも育ちもがう人達が集う施設だから
自分色の光を輝かせながら
お互いの色を重ね合わせる虹のように
ここで幸運の彩りを輝かせてほしい
社会福祉法人 豊生会 彩幸
https://saikou.or.jp/

理事長 原田 昭司

「文化祭に展示するので結婚式の写真を提供して下さい」との職員の呼び掛けに、タンスの奥に眠っていた50年前の写真を引っ張り出しました。当時、24歳で若々しい頃の自分と久しうりに対面することができ、しばし50年前にタイムスリップしてみると日本は高度経済成長時代でモータリゼーションの進展とともに交通事故が多発し、第一次交通戦争とも呼ばれた時代でもありました。さらに、テレビ、冷蔵庫、洗濯機の電化製品が三種の神器と言われ、各家庭に浸透していく活気のある時代でした。

その豊かな時代の礎を築き、戦後の荒廃から血のにじむような努力と汗を流し頑張つてくれた人達が、今、私たちがお世話をさせて頂いているご利用者様です。私たちが今までの労苦に少しでも報いられるように心を込めて介護、介助をしていかなければなりません。そこで、当時の結婚披露宴の席で「と」と「の」の使い分けをスピーチされた主賓者が「あたことを思い出しました。(僕と妻)「僕とお母さん」「私の旦那様」「私のお母さん」皆さんは、どちらの言方に心がこもっていると感じられるでしょうか?「と」だと平等、対等に感じられ、「の」だと温かさ、大きさが滲み出でてくるように感じられませんか。

彩幸職員は、「の」の心を大切にし「私の利用者様」「私の彩幸」という気持ちでどんな利用者様と彩幸職員が虹の架け橋で結ばれ「この職員に任せれば安心だ。彩幸で暮らしてよかったです。」と言つてももらえる幸せいっぱいな施設「彩幸」を目指しています。

○インドネシア視察について

生産人口減少が進み、介護業界のみならず、多くの産業で担い手が不足しており、今後、更に悪化が懸念されます。

ICTやロボット活用と平行して、外国人雇用を進め、産業の空洞化を防ぐ施策が多く打たれていますが、介護業界でも、既にEPA、留学生、技能実習制度等により多くの外国の方の力を借りて活動している団体も増加しています。

少子化に歯止めのかからない社会において、介護に就く学生も確実に減少しており、近い将来、私共も必ず、彼らの力を必要とする時代が来る予期しています。

ただ、単純労働力として受け入れるのではなく、これから高齢者を支えていく、共存できる仲間として彼らを受け入れたいという想いと、現場の介護職員が彼らを知ることが重要であると思慮し、視察をして参りました。

大清水 彩幸
●軽費老人ホームケアハウス
●デイサービスセンター ●居宅介護支援事業所
〒441-8131 豊橋市東大清水町181-1 TEL.0532-25-3361 FAX.0532-25-3707
△442-0846 豊橋市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771 FAX.0533-88-9772

豊川 彩幸
●軽費老人ホームケアハウス
●デイサービスセンター ●居宅介護支援事業所
〒441-3213 豊橋市西赤沢町字深山95番地 TEL.0532-23-6011 FAX.0532-25-3707
△442-0846 豊橋市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771 FAX.0533-88-9772

社会福祉法人 豊生会 彩幸

208mm
〈中に巻き込まれる面〉

特集 インドネシア視察

豊橋 特別養護老人ホーム 彩幸 職員だより「食欲の秋を大満喫!!」



「～食欲の秋を大満喫!! 心もお腹も虹色の幸せ～」

11月21日のおやつは、バイキング形式でケーキを提供させていただきました(写真の左・中央)。普段のおやつとは違い、7種類のケーキを机の上に並べ、食べたいケーキを利用者様ご自身に選らんでいただくことで、いつも以上におやつを楽しんでいただけました。

日々様々なイベントを計画し、利用者様の生活中に喜びや楽しみを感じていただけるように努めています。

利用者様に希望をお伺いし、その希望に添えるよう職員が計画を立てました。今回は『外食をしたい』というお声が聞かれたため、職員がお店の予約をしました。写真は外出先での様子です(右側)。移動中も、車内は笑い声で溢れ、目的地のレストランでは、ごちそうを召し上がり大満足のご様子でした。帰苑後も外出時の様子をお話して下さり、楽しいひと時を過ごしていただけたようです。

豊橋 ケアハウス 彩幸 職員だより「秋のお出かけ」



毎年、お出かけ行事というと結構遠くへ出かけていましたが、今年は近場でゆっくりしようということで、とんかつ屋の武蔵でうなぎ百合がご膳を召し上がっていただきました。

お刺身や野菜の煮物、茶碗蒸し、デザートなどが付いて盛りだくさんのお料理。うなぎはふっくら、串カツは柔らかく「いつもと違う料理だといちらでも食べられるね」と満足顔の皆さん。

その後、道の駅とよしへ移動し、買物を楽しみました。豊橋ならではの地域の産物がたくさん並んでいました。焼きたてちくわ、カレーランド、牛まぶし、うずらバームクーヘン…。野菜やくだもの、花や植木なども豊富でした。午後の屋下がりの時間帯で、お客様で大にぎわいでした。

秋雨ですっきりしない天候の一日でしたが、不思議と車の乗り降りには降られることなく「日頃の行いがいいのかねえ」と笑っていました。



豊橋 居宅介護支援事業所 彩幸 利用者様だより「キラリ☆輝き人」



朝倉 松枝さん(102歳)

今回の「キラリ☆輝き人」は、なんと!102歳でお元気一人暮らしをされている朝倉松枝さんにインタビューをさせて頂きました。

松枝さんの一人暮らし歴は、20年。「なるだけ自分でやれる事は自分でやらと思ってる」、「針に糸がなかなか通らない(笑)」と仰いながらも、ズボンのゴムの入れ替えや縫い物などを自分でされます。

実は松枝さん、今年の4月に自宅で転倒し腰の骨を骨折、5ヶ月程の入院を余儀なくされました。しかしながら、不屈の精神でリハビリに取り組み、退院の際には、担当ケアマネジャーに「また歩くから、早く自宅に手すりをつけておくれん」と何度も何度も催促されたという逸話があります。

「この間の台風の時は、どうせやーと思ったけど、朝早くから子供達が来てくれて助かった」とお話され、離れて暮らしても、いつも気遣ってくれる子供さん達のサポート力の大きさを感じずにはいられません。

現在は、ご家族のサポートの他、ヘルパーさんが毎日訪問をしています。

ヘルパーさんとの交流を楽しみに、ご自分のペースで穏やかに生活をされています。

幾つになっても諦めない、できる事は自分でする、という当たり前のよう

で継続がなかなか難しい事にコツコツと取り組む事の大切さを、102歳の松枝さんのお話から学ばせて頂きました。

つぎどこに行きましょうか?
甘いものは別腹ですね。
近くの喫茶店へちょうど外出。



たくさんの皆様のご協力を頂いて、振やかな文化祭を開催する事ができました。笑いあり、感動あり、そして、ハーピングもありましたが…楽しい一日でした。

皆様本当に、有難うございました。

毎年恒例～
秋の文化交流会



多くの皆様のご協力を頂いて、振やかな文化祭を開催する事ができました。笑いあり、感動あり、そして、ハーピングもありましたが…楽しい一日でした。

皆様本当に、有難うございました。

保育園
交流会

豊南保育園の園児のみなさんに来て頂きました。元気いっぱい可愛い園児さんには、やっぱりかないません。笑顔をたくさん貰いました!

彩幸 特別養護老人ホーム ショートステイ

豊橋 ショートステイ 彩幸 職員だより「可愛い金魚ちゃん♥」

ショートステイでは7月から、施設長が水槽を寄付してくれたので金魚を飼っています!

朝、夕に餌やりを行い、御利用者様に頼むと快く一緒に行って下さいます。お腹が減っていると、水槽の前に立つだけで金魚ちゃん達が寄ってきて可愛いです♥御利用者様も「可愛いねえ」と言なながら、笑顔で餌をあげています。

夏から比べると成長しており、どれだけ大きくなるのか楽しみです。金魚ちゃん達の成長ぶりはブログで紹介していきますので、お楽しみに!



彩幸 ケアハウス デイサービスセンター

豊橋 デイサービスセンター 彩幸 職員だより「秋のお出かけ・おやつ作り」

秋のお出かけ

「田原まつり会館」へ行きました。田原祭りに歩く山車が展示されています。その他、手筒花火も飾られており、男性利用者様が懐かしめ昔の話を下さりました。

また、田原まつりの「けんか牛」の様子が展示されており、大きな牛を見て驚かれたり、実際にけんか牛を経験された方もお見えになりました。

おやつ作り

おやつ作りの材料

- 麺 4~5個
- マーガリンまたはバター 小さじ1
- 砂糖 小さじ1/2

「おやつ作り」を作りました。お味噌汁やお吸い物に入れる「麺」を使用し、バターとザラメ、麺を混ぜホットプレートで焼いて出来上がりです。簡単でヘルシー、しかも美味しいので、是非お試しください。

彩幸 地域包括支援センター

豊橋 彩幸地域包括支援センター 職員だより「地域の防災活動に参加して」

太平洋に面する五井地区では、昨年から大規模地震に備え、自治会が中心となって防災対策に力を入れています。平成31年2月五井中学校での応急救護所開設訓練では、市役所、医師、保健師の方々と地域住民が大勢参加し実践ながらの救護訓練が行われました。令和元年9月小沢校区防災訓練では、愛知県と豊橋市が連携した総合防災訓練が大規模に行われました。11月細谷校区防災訓練では、避難所の間仕切り訓練、避難所備品、応急処置訓練等実際の対応法を学びました。この地方は災害がいつ発生してもおかしくないとと言われており、訓練に参加すればするほど不安にかられます。大切な事は日頃から防災意識を持ち、防災への備えを行うだけでなく、隣近所とのつながり、地域のあらゆる関係者とのつながりが避難、救護を円滑にするのだと言われています。改めて、地域のつながりの大切さを考えさせられました。

今回、地域包括支援センターは、災害における一人暮らし高齢者の安否確認について民生委員さんと協力して行なうことができました。

地域包括支援センターは、身近な相談窓口として地道に取り組んでいく事が大切です。今後も『地域のつながり』をより深められるよう皆さまの力になっていきたいと思います。



大清水 彩幸

豊橋 グループホーム 大清水 彩幸 職員だより ほっこりする風景

日常の少しほっこりする風景をお知らせします。共同活動への参加の様子は皆さんそれぞれ異なりますが、賑やかに暮らしています。



恒例行事

エプロンを付けて準備万端。やはりベテラン主婦の方々ばかりですので、勉強させて頂いています。

調理風景



毎年恒例で七夕にスイカ割りを行います。何故か皆さん、熱くなるんですよね(^_^;)